

# 岩盤ボーリング柱状図

調査名 一級河川 太田川水系 東福田4支外 砂防激甚災害対策特別緊急事業に伴う業務委託

事業・工事名

調査目的及び調査対象 砂防 ダム・溜池

ボーリング名	東福田6支降3or.4		調査位置	東福田6支降 NO.0 L-13.8m		北緯	34° 26' 39.0950"		
発注機関	広島県西部建設事務所			調査期間	令和3年 1月15日～ 令和3年 1月15日		東経	132° 32' 38.0391"	
調査業者名				主任技師			現場代理人		
コア採取率	TP 182.12m		角			方	北 0° 90° 180° 270° 西 東 南		
総削孔長	6.00m		度			地盤勾配	26° 水平 鉛直 90°		
使用機	D-0B (東邦地下工機)		試験機	エンジン ヤンマー NFAD8		ポンプ	BG-3B (東邦地下工機)		

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名(模様)	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬さ	割れ目の形状	岩級区分	コア採取率 (%) 最大コア長 cm RQD [%]	記	標準貫入試験					原位置試験	室内試験	削孔状況				
													孔内水位/測定月日	深度-N値図	N値	深	打撃回数の貫入量			50回の貫入量	自沈時の貫入量	削孔速度 (mm/分)	削孔径 (mm)	回転数 (rpm)
1	181.72	0.40	砂質土	暗褐	w5	h4	E	VI	d	D	0.91 0.100	表層、草根を混入する。砂分は細砂が主体。(中粒黒雲母花崗岩)	0	1.15	46	300	300	66	300	50	0	W30		
2			風化花崗岩	明褐	w4	h1	D	VI	d	DL	0.91 0.100	岩組織を明瞭に残すものの風化著しく、コアは指圧で容易に砕け砂状となる。	46	1.44			600	66	250	100	3	W320		
3	179.12	3.00									0.91 0.100	長石類の殆どは風化する。DL級岩盤に分類出来る。	37	2.15	37	300	600	66	250	100	3	W320		
4			風化花崗岩	白灰	w4	h1	D	VI	d	DM	0.91 0.100	岩芯まで風化進行し、コアはハンマーの軽打で容易に砕け砂状となる。	50以上	3.15	50	210	600	66	250	100	3	W320		
5											0.91 0.100	長石類の殆どは風化する。硬軟有り。	50以上	4.08	50	210	400	66	300	100	3	W320		
6	176.12	6.00									0.91 0.100	DM級岩盤に分類出来る。	50以上	5.21	50	210	400	66	350	100	3	W320		
7													50以上	6.09	50	90								